

最近の管内経済概況

(2023年6月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動きとなっている。
- 個人消費は、持ち直している。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数は増加、負債総額は減少した。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2023年8月24日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2023年8月現在)

発表月	2023年3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月との判断比較
総括判断	<u>持ち直しの動きがみられる</u> (↗)	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
生産活動	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
個人消費	<u>持ち直している</u> (↗)	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
観光	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	<u>改善している</u> (↗)	
公共工事	減少した	減少した	減少した	<u>増加した</u> (↗)	増加した	増加した	
住宅建設	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>弱まっている</u> (↘)	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	<u>弱含んでいる</u> (↘)	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	件数は増加、負債総額は減少した	

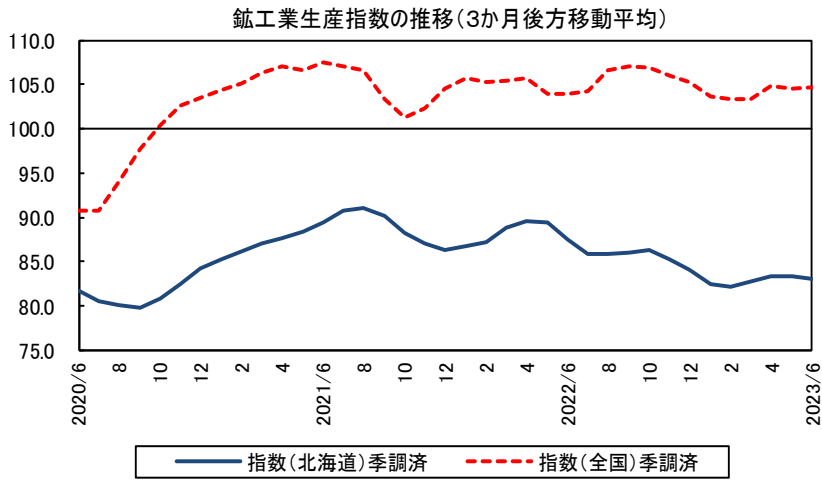
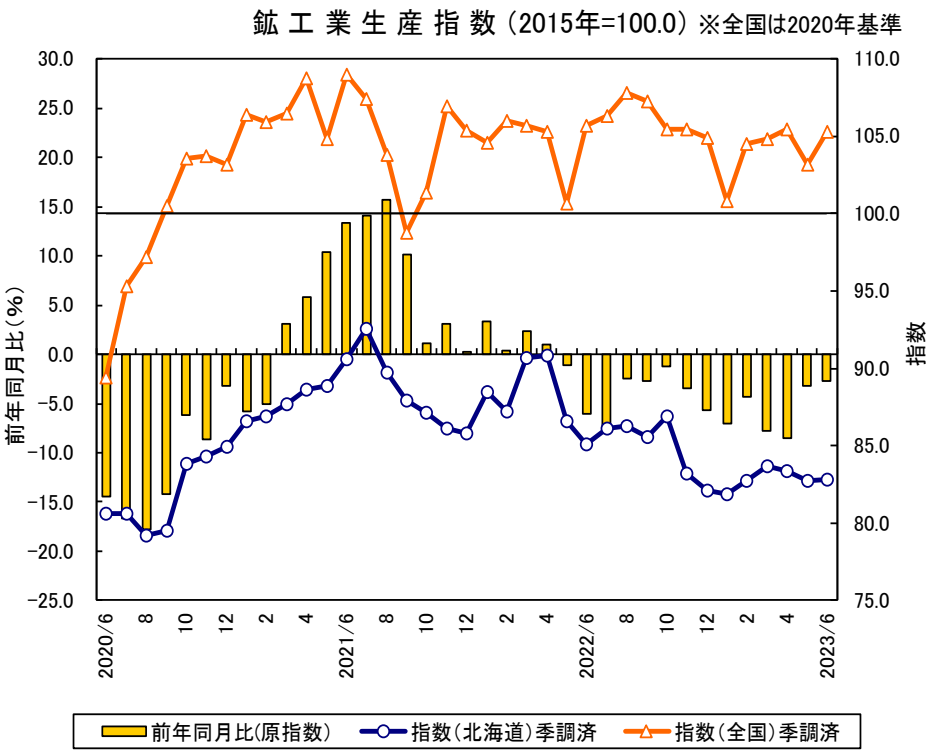
注：下線部は、前月から判断を変更した部分。 上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 弱い動きとなっている ～

6月の鉱工業生産は、前月比+0.1%と3か月ぶりに上昇した。前年同月比は▲2.7%と14か月連続で低下した。上昇業種は、化学・石油石炭製品工業など7業種となった。低下業種は、金属製品工業など8業種となった。

< 6月 >	
季節調整指数	
北海道（速報）	82.8（前月比+ 0.1%）
全 国（速報）	105.3（前月比+ 2.0%）

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
上昇 7業種	化学・石油石炭製品工業	+ 11.8	+ 5.9	化学・石油石炭製品
	窯業・土石製品工業	+ 11.5	▲ 15.7	窯業・土石製品
	食料品工業	+ 2.1	▲ 4.0	塩蔵品
低下 8業種	金属製品工業	▲ 25.1	▲ 18.1	鉄骨

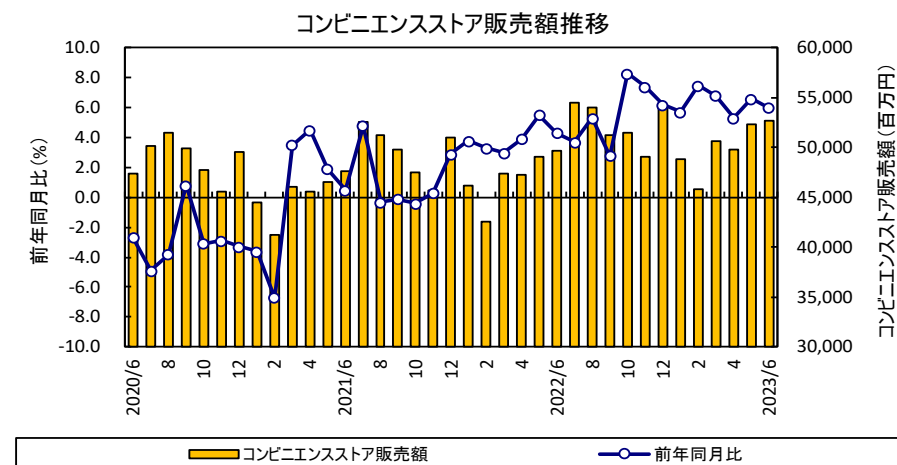
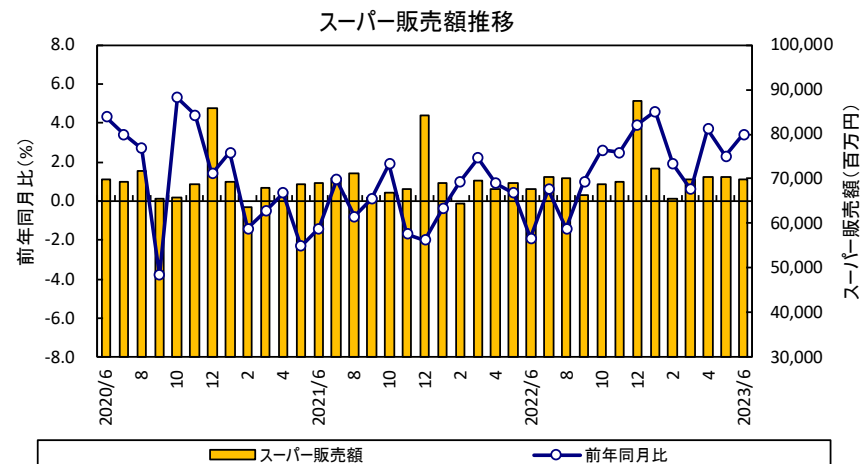
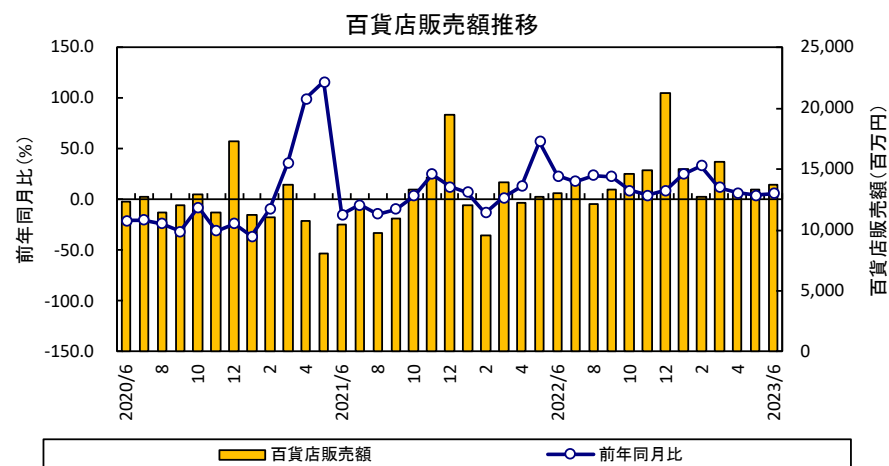


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 持ち直している ～

6月の個人消費は、家電とホームセンターが前年を下回ったものの、他の5業態は前年を上回った。

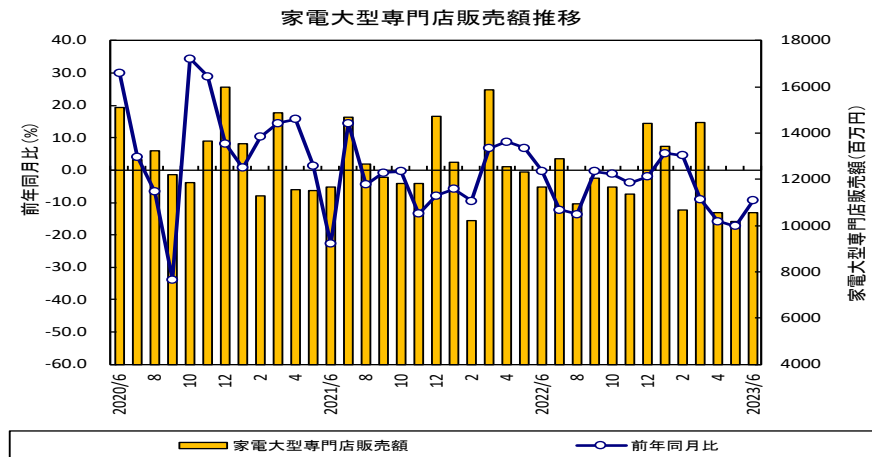
- ・百貨店は、夏物の衣料品や身の回り品の売上げが好調で、前年同月比+6.1%と16か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、値上げの影響で飲食料品の売上げが増加し、同+3.4%と10か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+6.0%と20か月連続で前年を上回った。



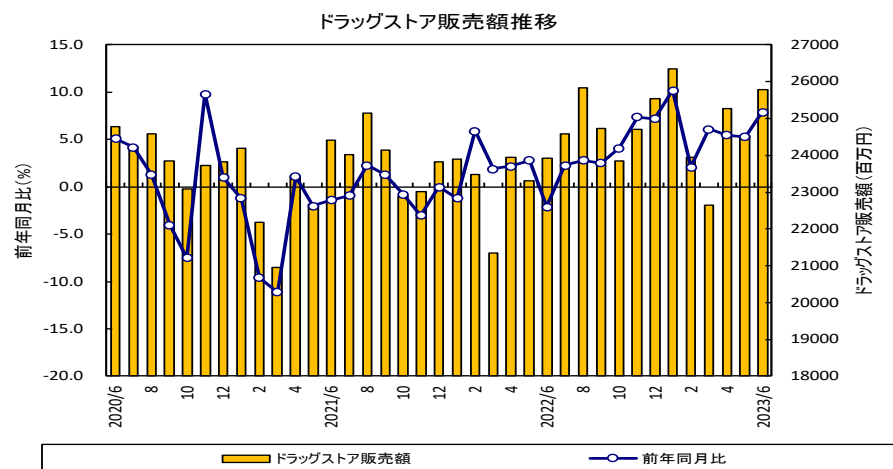
【ヒアリング内容】

- ・気温が高く、晴れた日が多かったことから、カットソーや羽織など夏物衣料のほか、帽子や日傘などUV対策の商品が好調だった。宝飾品や時計など高級ブランドの商品は、国内富裕層向けに引き続き好調なほか、インバウンドも伸長した。売上げ全体ではコロナ禍前の水準に並んだ。（百貨店）
- ・値上げの影響で引き続き売上げが増加した。外出需要の増加に加え、気温が高い日が多かったことから、浴衣や水着などの夏物衣料が伸びている。一方で、飲食料品は節約志向からか、特売時の売上げが良かった。（スーパー）
- ・気温の高い日が多く、飲料やアイス、調理麺などの売上げが良かった。また、人流増加に伴い、都市部のほか地方の人の動きも活発化しており、来店客数が増加し、おにぎりやパンの売上げが好調だった。一方で、酒類では引き続き低価格帯の商品の売上げが良く、消費者の節約志向が見られた。（コンビニエンスストア）

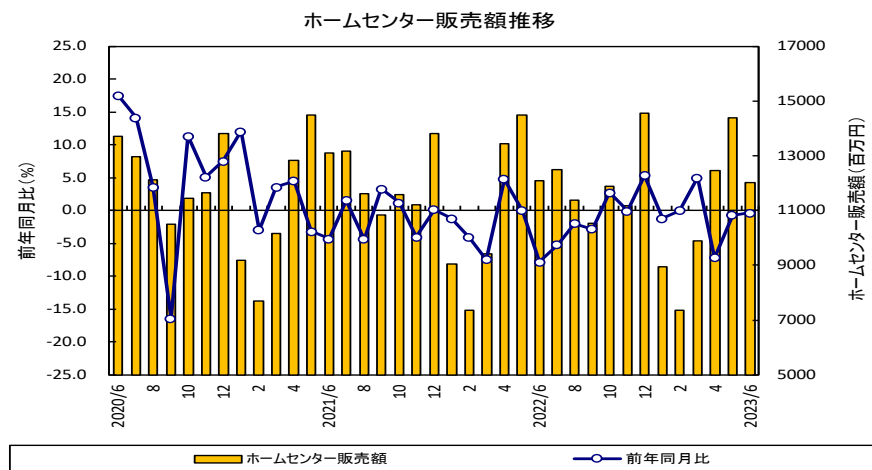
- ・家電大型専門店は、同▲9.4%と4か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+7.9%と12か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲0.4%と3か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同+17.0%と10か月連続で前年を上回った。



(資料：北海道経済産業局)

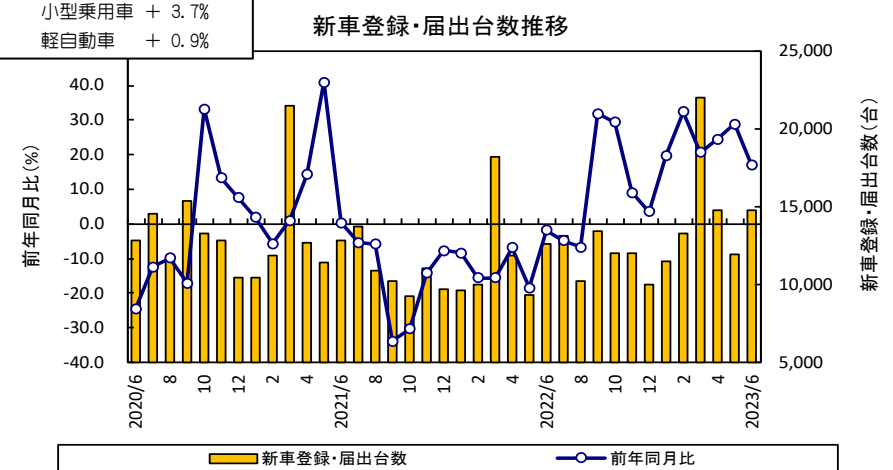


(資料：北海道経済産業局)



(資料：北海道経済産業局)

< 6月 > 普通乗用車 +44.2%
小型乗用車 + 3.7%
軽自動車 + 0.9%



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

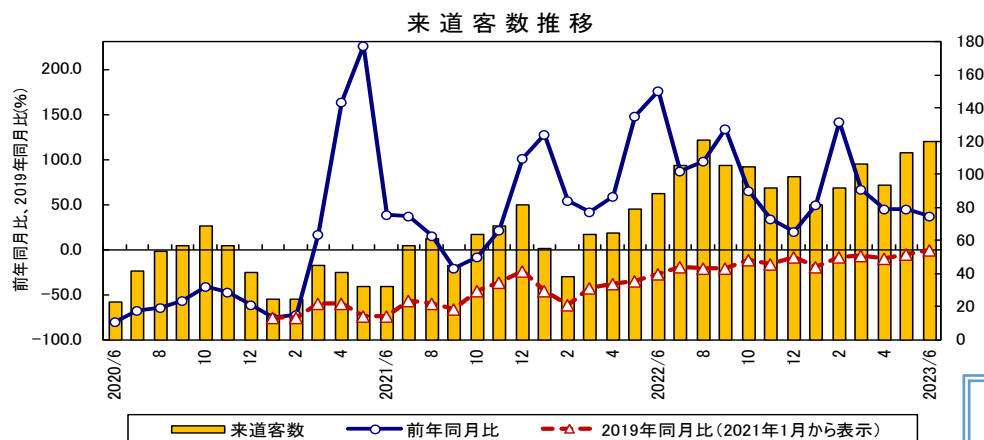
【ヒアリング内容】

- ・客数が減少しており、売上げが前年を下回った。物価が高止まりしていることもあり、比較的高価な家電製品は購入の優先順位が下がっているようだ。(家電大型専門店)
- ・運動会や行楽など外出機会が増加し、気温も高かったことから、UVケアや制汗剤など季節性商品のほか、飲料の売上げが良かった。売上げ全体に占めるインパウンドの構成比は、まだコロナ禍前の水準に及ばないものの、客単価は回復した。(ドラッグストア)
- ・値上げの影響で客単価が上がったものの、客数が減少し、売上げが前年を下回った。一方で、行動制限が解除されたことにより、キャンプ用品やバーベキュー用の木炭などの売上げは良かった。(ホームセンター)

観光 ～ 改善している ～

6月の来道客数は、前年同月比+36.3%（2019年同月比▲0.8%）と20か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、90,012人であった。

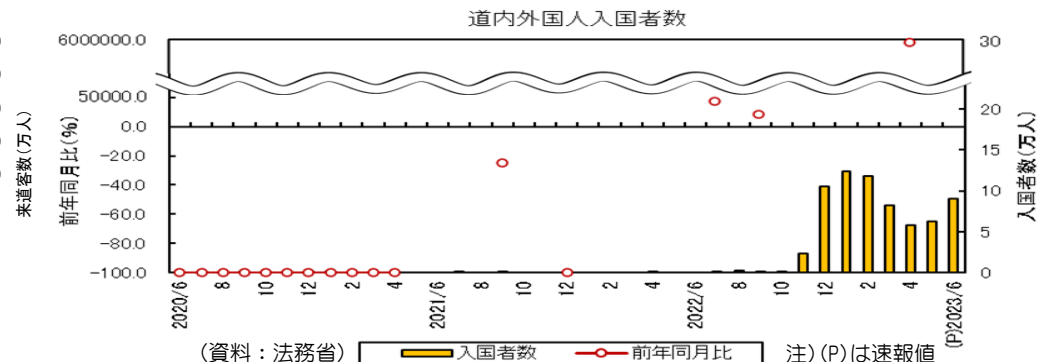
<6月> 入国者数 90,012人（- %）



<6月> 来道客数 1,200,271人（+36.3%）

※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

（資料：（公社）北海道観光振興機構）

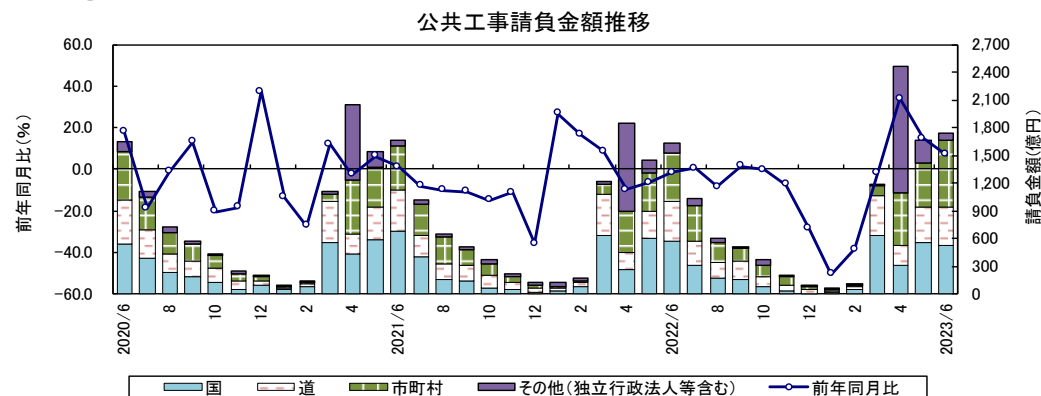


【ヒアリング内容】

- ・6月は、平日は道内外からの団体ツアー客や修学旅行生、韓国や台湾を中心とした外国人観光客でにぎわい、また、週末の宿泊施設はほぼ満室の状態が続いた。7月は、全国旅行支援の終了日後も国内観光客の宿泊予約は衰えず、前月より伸びる見通し。また、外国人観光客は前月に続き韓国や台湾が中心。一方、中国からの直行便が復航したが、目に見えて中国人観光客が増えた印象はないため、今後に期待。（観光協会）

公共工事 ～ 増加した ～

6月の公共工事請負金額は、国、道は前年を下回ったが、市町村は前年を上回り、前年同月比+6.9%と3か月連続で前年を上回った。



<6月>
北海道 + 6.9%
(内 訳)

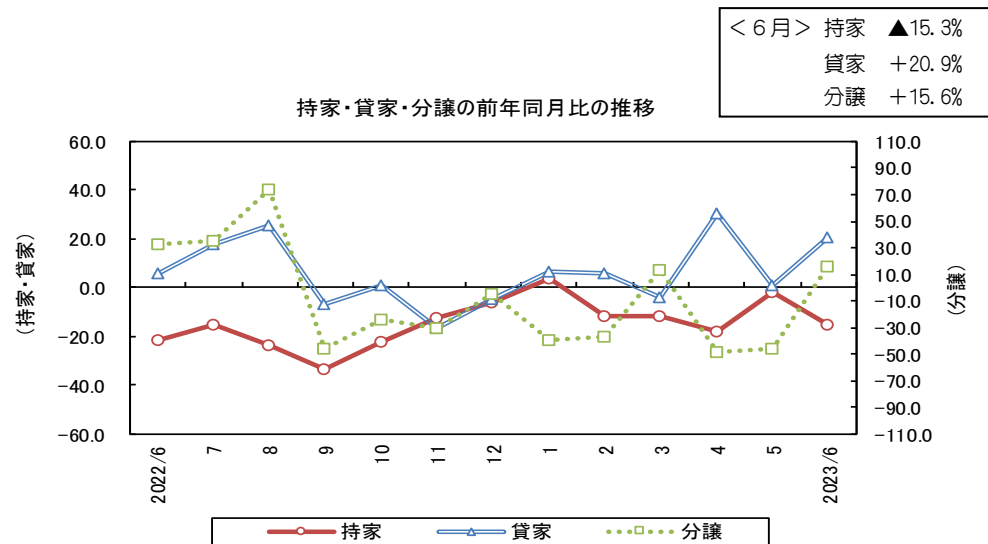
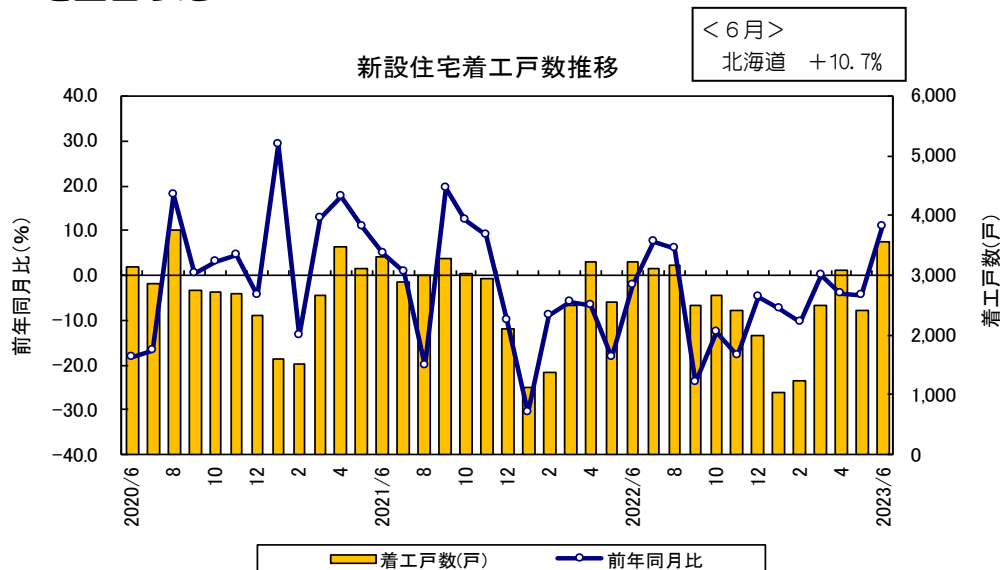
国 ▲10.1% 道 ▲3.6% 市町村 +42.4% その他 ▲30.3%

（請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額）

（資料：北海道建設業信用保証（株）ほか2社）

住宅建設 ～ 弱まっている ～

6月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったが、貸家、分譲は前年を上回り、前年同月比+10.7%と10か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2023年度の設備投資計画は、全体で前年度比+1.5%と2年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2023年7月3日発表

	2022年度	2023年度
北海道	+ 11.3%	+ 1.5%
製造業	+ 25.6%	+ 25.2%
非製造業	+ 6.8%	▲ 7.2%
全国	+ 9.2%	+ 11.8%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2023年6月13日発表

	2022年度	2023年度
全産業	+ 26.0%	▲ 3.8%
製造業	+ 34.7%	+ 14.9%
非製造業	+ 24.0%	▲ 9.0%

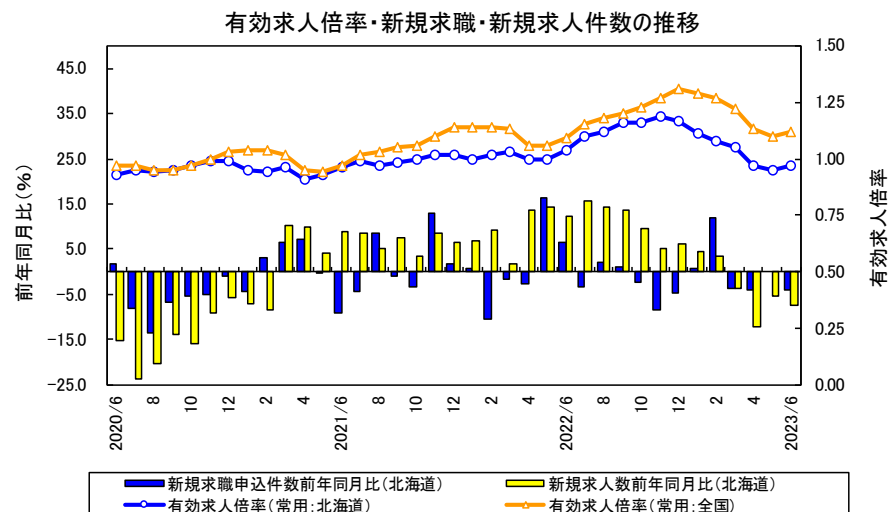
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

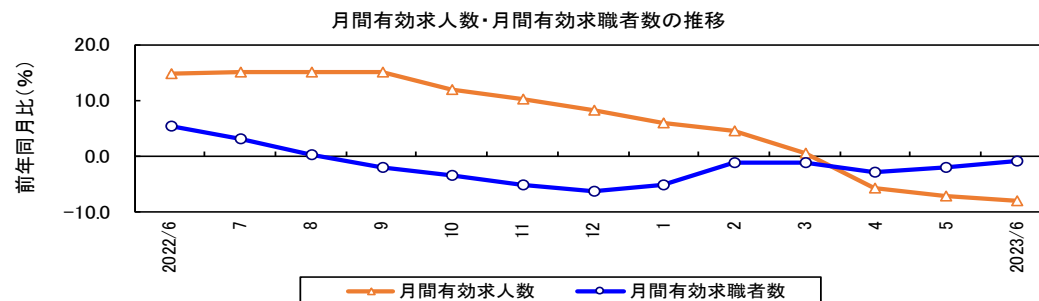
雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

6月の有効求人倍率は、0.97倍と前年同月差0.07ポイント低下し、3か月連続で前年を下回った。



< 6月 >			
北海道	有効求人倍率(常用)	0.97倍	
	新規求職人数(前年同月比)	▲ 7.4%	
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 4.1%	
	有効求人倍率(常用)	1.12倍	
全 国			

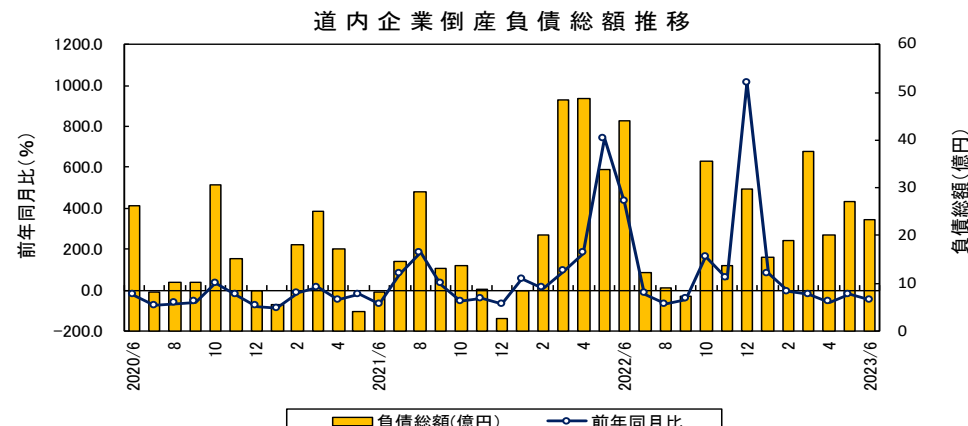
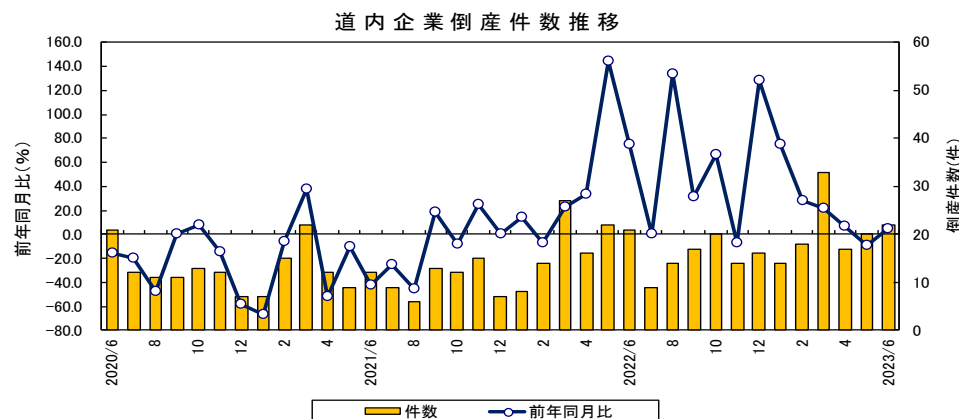
< 6月 >			
月間有効求人	人数(前年同月比)	▲ 8.0%	
	月間有効求職者数(前年同月比)	▲ 0.8%	



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数は増加、負債総額は減少した ～

6月の倒産件数は22件で、前年同月比+4.8%（1件増）と2か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は23.5億円で、同▲46.6%と5か月連続で前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)